

## コロナ禍の中での地域活動支援事業の取組

### 「くびき野レールパーク」公開及び出版事業

NPO法人くびきのお宝のこす会  
会長 西山 義則

コロナ禍ではありますが、今年度も、レールパークでの安全な体験乗車ができるようにと、5月公開の前に枕木交換工事を実施しました。

レールパークを運営していくためには、様々な保守点検作業が必要ですが、一番大きなものは枕木交換です。現在のレールパークの軌条は、元の機関庫の位置を中心に敷設してありますが、元々地盤が弱く、雨が降れば水がたまるような状況です。そのため、定期的な枕木交換が必要になります。

今年は昨年実施できなかった本線の東側部分と、ポイント付近の工事を行いました。ポイント付近は交換する枕木も大きなものを使うため、時間がかかりました。また、ポイントの微調整が必要であり、熟練の技を必要とします。今回は、レール幅が固定できるように、所々にPC枕木も使用しました。

大きなバラストを使用したので、枕木の腐食も心配なさそうです。

秋には、レールパークの誕生秘話をまとめた本を出版します。

上越市内の小・中学校や関係者への配布を予定しています。希望者にも販売します。



枕木交換工事（5月）

### 大池散策道に樹木銘板を取り付ける

NPO法人くびき里やま学校  
坂田 斉

このたよりが届く頃、大池は錦秋を迎えているでしょう。冬の訪れは遅く春は早く、雪まだ残る頃、マンサクの黄色やオクチョウジザクラの可憐な花が見られます。大池の散策道を児童や区市民の皆さんに案内しています。

多種の樹木で囲まれた散策道では、「この木の模様、面白いね」「そうだね、ナツツバキって言うんだよ、初夏には白い花を咲かせるんだよ。」樹肌の模様の気付ききっかけで、他の樹木や大池の自然に対する感性を持つてくれたら嬉しいですね。

散策道の樹木に名札を取付け、何時でも樹木名が判り、「今度は花が咲いている時に来よう」「どんな紅葉するのだろう」また来たくなる。今度は友だち誘って来よう。いつでも、いつまでも、大池を自分のものでして親しんで欲しいと願います。



ナツツバキ



# 頸城区地域活動支援事業 採択結果一覧 (受付順)

単位：千円

No	事業の名称	団体の名称	事業内容の概要	補助採択額
1	くびき野レールパーク公開及び出版事業	NPO法人 くびきのお宝のこす会	地域のお宝を活用した賑わいと潤いのあるまちづくりの推進を目的に、地域の宝「軽便鉄道車両」を活用し、くびき野レールパーク公開やレールパーク変遷を伝える本を作成する。	960
2	白田邸環境整備等事業他	白田邸保存会	区内の観光振興や地元の歴史や文化を伝えることを目的に、国登録有形文化財の白田邸の整備と活用を行う。	1,200
3	市道頸城線等景観整備事業	くびき花の会	良好な景観と人間関係の維持を目的に、多くの市民を巻き込み市道沿線や中学校の花壇を整備し植栽する活動を行う。	590
4	頸城の伝説伝承事業	読み聞かせサークル ワンダーランド	子どもたちが自分の住む地域に関心を持ち、地域に愛着を持つ心を育むことを目的に、頸城の伝説を題材にした絵本を制作し学校や図書館に置くとともに、読み聞かせ活動で活用する。	1,211
5	地域の健康づくりと高齢者世代のスポーツによる生活改善推進事業	NPO法人 ユートピアくびきスポーツクラブ	健康増進とスポーツ活動への参加を目的に、体成分分析装置を使い運動習慣に結び付けるとともに、健康診断の結果改善に活用する。	750
6	頸城区のスポーツ振興事業	頸城中学校後援会	頸城区民のスポーツ振興と福祉増進を図ることを目的に、頸城中学校の体育館を遮光し、利用する団体が安全に利用できるようにする。	1,472
7	頸城スポーツ少年団幼年野球活性化事業	頸城スポーツ少年団保護者会	子どもたちの野球環境の改善を目的に、くびき球場や大湊小学校グラウンドで利用できる簡易式外野ネット等を用意して大会等で活用する。	200
8	文化・芸術活動の活性化推進事業	くびき文化協会	頸城区の文化・芸術活動のすそ野を広げ振興を図ることを目的に、活動の様子を分かりやすく紹介するカラー印刷の広報誌を作成し配布する。	85
9	雁金城跡及びその周辺の史跡の保存、整備とPR併せ会員の知識の向上事業	雁金城跡保存会	雁金城跡を整備保存と知識の高揚を図ることを目的に、登山道や駐車場の整備、案内パンフレットの作成を行う。	126
10	坂口記念館を拠点とした「くびきの地力」活性化推進事業	特定非営利活動法人 くびき来夢ネット	坂口記念館の来場者増加を目的に、ガーデニング、そば打ち、写真等各種講座の開催、新しい料理メニューの開発を行う。また、構成員のステップアップを目的に先進地の視察を実施する。	390
11 (追-1)	大池散策道における樹木の銘板掲示事業	特定非営利活動法人 くびき里やま学校	大池に多くの皆さんが訪れ身近な自然にふれて散策を楽しむことを目的に、散策道沿いに地域の皆さんと一緒に、樹木の銘板を設置する。	190
合 計				7,174

## 頸城区地域協議会の会長と副会長 新委員からのご挨拶

3月24日に開催した令和2年度第10回地域協議会で、井部辰男会長の逝去に伴い空席となっていた頸城区地域協議会会長に上村 閏一委員、副会長に佐野喜治委員を選任しました。

また市長が補欠委員の選任を行い、令和3年8月12日付けで橋本春美さんが任命されました。

### 上村 閏一 会長



頸城区では米を取巻く状況も大変厳しい中、一次産業である稲作の収穫もほぼ終わりました。コロナ禍における生活環境の変化を求められる中、3月の第10回地域協議会において会長に就任いたしました。

地域協議会は様々な立場の市民の皆さんの意見を取りまとめ、行政に意見の言える会にしなければならないと考えております。合併後、新たな地域自治区のまちづくりとして、コロナ禍の中で区民の皆様の意見を委員全体で身近な地域課題として共に議論し、そして解決方法を見出して市政に反映させる機関でありたいと思っております。今後とも活発な御意見と御指導をくださいますようお願いいたします。

### 佐野 喜治 副会長



この度、頸城区地域協議会の副会長として選任されましたが、その任の重さをあらためて感じています。少子高齢化や価値観の多様化、更には新型コロナウイルスへの対応等により、地域のコミュニケーションや交流活動などが若干停滞している気配です。然しながら、住民自ら主体的に考え動くことが地域づくりの要であります。上村会長はじめ各委員の皆様と力を合わせ頸城発展の為、努力して参ります。御支援をよろしくお願いいたします。

### 新委員

#### 「地域のつなぎ役として」

橋本 春美 (川袋)

地域に目を向けると各世代の関心や意識の違い、繋がり希薄化を感じます。コロナ禍の状況も踏まえ、整え変化する時期にあたる「今」何を生かし守り、何を变える必要があるのか。各世代の声を地域へと渡す橋となれるよう、及ばずながら全力を尽くします。



令和3年度第2回地域協議会の様子

### ◆部会の動き◆

地域協議会では、地域の課題解決に向け2つの専門部会（総務・地域振興、教育・福祉）を設けています。

昨年度、地域協議会委員と区内27の団体との意見交換を行い、あらゆる視線から、改めて地域のことをお聞きしました。そこでの意見交換会の中で、私たち地域協議会委員が最も感じた大きなキーワードは「少子高齢化」です。公共交通を始め地域の絆、財源のことや公共施設に関して、全てに関連しているキーワードではないかと捉ええました。

そして、今年の8月までに各専門部会を3回開催し、各団体や地域の方々の意見を参考に、課題解決に向けた話し合いの結果、一つのキーワードを見出しました。それは「公民館」というキーワードです。

今後は公民館の考え方や地域のニーズを再確認しながら、課題解決に向けた取り組みを行ってまいります。

(佐藤 学委員)

## 地域協議会のうごき

### <令和3年度の協議会開催の経過>

#### ■ 4月23日（金）・第1回地域協議会

- ・地域活動支援事業について
- ・上越火力発電所の営業運転開始時期の前倒しについて
- ・令和3年度総合事務所の体制について



#### ■ 5月20日（木）・第2回地域協議会

- ・令和3年度頸城区地域活動支援事業について（提案事業プレゼンテーション）

#### ■ 6月17日（木）・第3回地域協議会

- ・令和3年度頸城区地域活動支援事業の採択について
- ・送電線新設工事に係る進捗状況について

#### ■ 7月26日（月）・第4回地域協議会

- ・頸城区地域活動支援事業について（追加提案事業プレゼンテーション、採点及び採択）

#### ■ 8月27日（金）・第5回地域協議会

- ・地域協議会の運営等について
- ・新潟県南部産業団地の現状について

★《地域協議会後：第1回 総務・地域振興部会、教育・福祉部会を開催》

#### ■ 9月29日（水）・第6回地域協議会

- ・新潟県南部産業団地の現状について
- ・「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について

★《地域協議会後：総務・地域振興部会、教育・福祉部会合同の勉強会を開催》

## 編集後記

地域協議会の5期目も2年目となりました。一向に新型コロナウイルス感染症が治まる気配が見えない日が続き、全員で時間をかけて議論を尽くす、また、外への研修等の勉強会も思うようには出来ませんでした。

そもそも協議会は合併に伴って生じる区の中の身近な問題点や、これからの地域のあり方について広く意見を出し合い、地域の活性化を促すことが大切な役割であるはずですが、合併から16年が過ぎようとしている今、振り返ってみると地域活性化を促していく地域のリーダー組織としての役割や意義が薄れてきたように感じられます。自ら立候補して委員になっているのだから、初心に立ち帰り、新しい委員の皆さんと意義ある議論をしなければならぬと思うこの頃であります。

現在、当協議会では、2部会（令和2年10月の地域協議会日より詳しい）に分かれて区の活性化について議論し、区の将来に向けた建設的な意見をまとめようと試行錯誤していますが、将来性のある建設的な具体案をまとめるまでには至っていないのが現状であります。

今後協議会として、課題に対しては、関係する地域の皆さんとも十分な意見交換をして、より良い答えを出すことができると考えています。

地域協議会に区民の皆さんのご支援をお願いします。

（地域協議会委員 望月 博）